

## 「サザンブロット法」 検査報告様式変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、別掲の遺伝子検査項目につきまして本年4月5日より別紙報告書の報告様式を変更させていただくことにいたしましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
104	-	免疫グロブリンH鎖J <sub>H</sub> 再構成	別紙報告書の報告様式	裏面の別掲図参照	
104	-	免疫グロブリンL鎖J <sub>K</sub> 再構成			
104	-	免疫グロブリンL鎖J <sub>λ</sub> 再構成			
104	-	T細胞受容体β鎖Jβ1領域再構成			
104	-	T細胞受容体β鎖Jβ2領域再構成			
104	-	T細胞受容体β鎖Cβ領域再構成			
104	-	T細胞受容体γ鎖Jγ領域再構成			
104	-	T細胞受容体δ鎖Jδ1領域再構成			
105	8189	HTLV-Iプロウイルスクロナリティー			
105	-	EBVクロナリティー			
105	-	CPEOミトコンドリアDNA欠失解析			

※検体量・基準値等の検査要項に変更はございません。

#### ■変更期日

- 2018年4月5日(木)報告分より

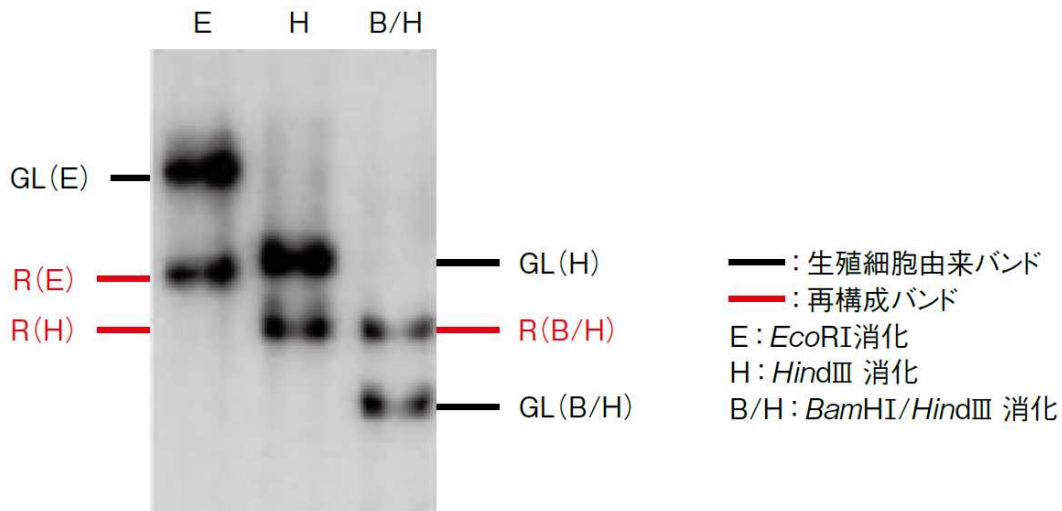
以上

# サザンブロット法 検査報告様式変更

## ■新旧の報告画像例

	新	旧
画像	健常者コントロールと患者結果(再構成バンドは赤矢印)をそれぞれ表示	患者結果のみを表示(再構成バンドは赤線)

旧画像例：



新画像例：

